



地域のちからで高齢者虐待を防ぎましょう

～日頃の声掛け・見守りが

早期発見・早期支援につながります～

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、外出の機会が減り、自宅過ごす時間が増えたと思います。それに伴い、家庭内での精神的ストレスや介護の負担が増えたり、経済的な問題が生じたりすることで高齢者虐待につながる危険があります。

市の現状として、令和元年度の相談通報件数は21件で、うち7件を虐待と判断しました。虐待の理由として、家事と介護を両立させようとしても不慣れなために手を出してしまったりというものが多く、通報のほとんどが警察から受けたものです。自宅や地域で過ごす時間が増えた

今、地域に目を向け高齢者やその家族が孤立しないよう声を掛けあい、地域ぐるみで高齢者虐待防止に向けて取り組むことが必要です。

「何か様子がおかしい」と思った時点で相談していただくことが、早期発見・早期支援につながります。※通報したことによって個人情報が出たり不利益な扱いを受けることはありません

9月は「高齢者見守り強化月間」です。近所の高齢者に異変を感じたら小さな気づきでもご連絡ください。



あなたも私もできる！
日頃の声掛け・見守りのポイント

- 普段からのあいさつが大切です。元気がないような時には、率先して声を掛けましょう。
- 「郵便物がたまっている」「高齢者の体に不自然なあざがある」、「介護者が疲れた表情をしている」など変わった様子はないか見守りましょう。
- 家族や介護のことで悩んでいる人がいたら、民生委員や地域包括センターへの相談を勧めましょう。

● 問い合わせ

介護高齢課地域包括支援センター
☎53-2111 (内線3432)



▲防災の取り組みについて説明を聞く参加者

砂山地域は海に面しており、自然災害が発生した際は危険と隣り合わせとなることから、防災に力を入れた地域づくりを進めています。有事の際の備えについて学ぶことにより、自主防災組織や防災士のスキルアップを図り、地域の防災対策の強化を目的とした「研修視察」を毎年行っているほか、「砂山地域合同防災訓練研修」を開催しています。

砂山地域合同防災訓練研修では、自主防災組織の重要性と住民一人一人の防災意識の向上を図ることを目的として、防災に関する



まちづくり協議会通信

No.6

～砂山地域まちづくり協議会～

地域に合った取り組みで防災意識が高い地域を目指して



▲さまざまな意見や考えを学ぶことができました

講話や市の出前講座を活用した「避難所運営ゲーム」「防災ゲーム(クロスロード)」を実践するなど、防災知識を学ぶ日として取り組みを行ってきました。

今後は、新型コロナウイルス感染症対策をとりながら、地域に合ったさまざまな取り組みを進めたいと考えています。

● 問い合わせ

自治振興課自治振興室
☎53-2111 (内線5111)



市HP関連ページ